

平成28年度 学校教育目標・重点目標・取り組みの重点

京都市立梅津中学校

1. 学校教育目標

人間尊重を基盤として、社会の変化に惑わされることのない正義感と志をもち、仲間を大切にする心をもつ、豊かな人間性の育成。

2. 今年度の重点目標と目標達成のための取り組み(取り組みの重点)

重点目標1：楽しく安心安全、一人ひとりが大切にされる学校づくり。

- ① 担任の「学級経営力」の向上と安心感のある学年の強力な支援体制。
- ② ひとりひとりを理解し、その存在価値を認め、活躍の場を与える。
- ③ 保護者と緊密に連携し、学校に対する理解を深め信頼性の向上を図る。
- ④ 様々な行事を通して成功体験や成就感を味合わせ、充実した学校生活を提供する。
- ⑤ 全員参加、活発な授業を目指すとともに、低位層への手立てを充実させる。

重点目標2：基本的生活習慣とルールや約束を守る生徒・集団の育成。

- ① 一人ひとり違う課題を見抜き、正しく判断・行動できる自己指導力を身につけさせる。
- ② 道徳と人権学習を重視し、人間尊重・正義感・豊かな心・仲間を大切にする心の育成。
- ③ 細かな家庭への働きかけにより、規律ある生活習慣の定着を図る。
- ④ 生徒の変化を見逃さない細かな観察と組織による素早く適確な対応。
- ⑤ 「言葉」「約束」「仲間」を大切にする『梅津の志』の徹底を図る。

重点目標3：全員参加の活発な授業と進路を考え自ら学ぶ生徒の育成。

- ① 「小中連携」した義務教育9年間を通した学習体制づくり。
- ② 学習の意義や目的を理解させ、自ら学ぼうとする姿勢の育成。
- ③ 「めあて」「ふりかえり」の確実な提示と実行。評価を活かした授業づくり。
- ④ 協働学習を取り入れた、活動的で全員が参加し、生徒同士でも高め合える授業の創造。
- ⑤ 進路をテーマとした総合学習をキャリア教育に進化させ、生きる力の育成も目指す。

重点目標4：「梅津の志」の徹底と「いいことばの日」の進化、愛校心の育成。

- ① 地域の教育の中心としてのアピール機会を増やし、地域の教育力の向上を目指す。
- ② 「いいことばの日」を、地域ぐるみの取組へ発展させ、地域にも根付かせる。
- ③ 生徒会活動の徹底的な支援と「梅津の志」の唱和と校歌を歌う機会を増加させる。
- ④ 様々な行事を通して成功体験や成就感を味合わせ、充実した学校生活を提供する。
- ⑤ ジャージ・通学服を自慢できる、校外でも着ていて誇らしいデザインへ変更。

重点目標5：指示が通り連携がとれ、高め合い補い合える教職員集団づくり。

- ① 信頼関係に基づき、互いの長所を活かした教職員チームの確立。
- ② 各々が役割と責任を果たし、個々の持つ多様な力を融合させ人数以上の力を発揮。
- ③ 危機管理意識の向上と服務規定の遵守、公務員としての倫理観の向上。
- ④ OJTと活動的な研修会による、若手の育成と中堅のレベルアップ。
- ⑤ 素早く怠りがなく正確な報告・連絡・相談の徹底。